

門前で〈千年〉を考える芸術祭

多彩なアートと、善光寺信仰と歩む門前が、コラボレートする7日間

開催期間 2025年2月5日(水)～11日(火祝)

開催エリア 長野県長野市善光寺周辺および門前（信州善光寺大勧進紫雲閣・西之門よしのや・R-DEPOT ほか）

参加アーティスト・展示（予定）

大木裕之〔映像作家・映画監督〕

岡澤喜美雄〔画家・版画家〕

小山利枝子〔画家〕

郡司ベギオ幸夫〔数理生物学者・アーティスト〕

光明制作所〔アーティストユニット〕

田嶋健〔美術家・木版画家〕

中村恭子〔日本画家〕

ナカムラジン〔美術家〕

高木こずえ〔写真家〕

増田洋美〔ガラス造形作家〕

宮本忠長＋佐倉弘祐・信州大学理工学研究科「都市空間デザイン学」学生プロジェクト

上演・舞台プログラム（予定）

大倉源次郎〔小鼓方大倉流家元〕

もんぜんまち劇場

もんぜん 千年祭

Monzen Millennium
Art Festival
2025, NAGANO

主催

もんぜん千年祭実行委員会

事務局

ISHIKAWA地域文化企画室 380-0845 長野市西後町610-12 R-DEPOT2F-I

特別協力

信州善光寺

善光寺大勧進

善光寺大本願

後援

長野県

長野市

信濃毎日新聞社

NHK長野放送局

SBC信越放送

abn長野朝日放送

TSBテレビ信州

NBS長野放送

協力

長野灯明まつり実行委員会

信州大学工学部建築学科

長野県立大学

清泉女学院大学文化学科

長野美術専門学校

宮本忠長建築設計事務所

西之門よしのや

R-DEPOT

ANOMALY

TARO NASU

ミルク倉庫＋ココナッツ

支援

信州アートカウンシル（一般財団法人長野県文化振興事業団）

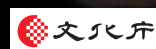
令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

信毎文化事業財団

クラウドファンディング

ご支援募集中！

2024年12月27日まで



開催ステートメント『千年ともんぜん』

千年以上も前に創建された善光寺は、仏教が宗派として組織される以前から存在し、様々な宗派を包摂してきた特別な存在です。だからこそ、この門前には貴賤雅俗多様な人々が様々な土地から、現世のしがらみを離れて訪れたことは想像に難くありません。

こうした善光寺門前という空間で、ひとつの文明の興亡や、来たるべき文明をも仮構できる「千年」という時刻に縛られない遙かなスケールを想像すること—この瞬間、私たちは自由に時間を往来し、異なる複数の時をも同時にイメージ出来るはずです。

そして時空を超え、新たな関係（＝縁）を結び、育み、困難な時代の中で、未来へと手渡すことのできる〈やってくる何か〉を探るのが、この「もんぜん千年祭」が目指す姿なのです。

開催プログラム 参加アーティスト・展示・舞台上演（予定）

大木裕之 [映像作家・映画監督]

カメラを手に東京や長野、世界各地を移動し、映像制作を中心に多様な表現を用いる。膨大なイメージが次々に重ねられていく詩的な映像は国内外から高く評価される。

大倉源次郎 [小鼓方大倉流家元]

「能には人間の記憶と人類の英知が詰まっている」という信念のもと、国内外の多数の公演や、多ジャンルとの共演など積極的に活動。2017年に人間国宝に認定。

岡澤喜美雄 [画家・版画家]

長野市で「岡沢絵画研究所」開設、その博識と人柄は愛された。多くの銅版画、絵画を制作。澁澤龍彦の豆本挿絵なども手掛けた。2022年没。

小山利枝子 [画家]

長野市在住。その巨大な絵画は「花」をモチーフとしているが、鮮やかな色彩と無数の筆触（ストローク）に覆われ、いつしか鑑賞者は具象と抽象のはさまを漂うこととなる。

郡司ペギオ幸夫 [数理生物学者・アーティスト]

生命、進化、意識に対する研究の中から「天然知能」を提唱。人工知能に対し計算不可能なヒトの創造力の秘密を探る。近年は「天然知能」の理論実践として作品を制作する。

光明制作所 [アーティストユニット]

中村明と羽田光によるユニット。長野市在住。映像と楽曲、立体等によるインスタレーション。そのユーモラスな作品は柔軟な視点の回復（リフレーミング）をうながす。

田嶋健 [版画家・イラストレーター]

佐久市在住。木版画や紙芝居等の制作のほか、郷土玩具の蒐集・制作も行う。自然や動物、信仰など、地域への温かな眼差しと、どこかおかしみを帯びた作風が特徴。

中村恭子 [日本画家]

下諏訪町生まれ。作品制作の実践と執筆活動により、創造性にまつわる問題を研究。近年は「書き割り」と称しえる日本の古画の空間表現に創造のヒントをみる。

ナカムラジン [美術家]

御代田町在住。キッチュなキャラクターが登場する仏画や花鳥図を制作。真筆画はもちろん版画や陶磁器に至るまで様々な手法や画法で、多彩な領域を横断する。

高木こずえ [写真家]

中野市在住。写真をベースに、旧来の枠に収まらない手法で表現の地平を切り開く。近年は油彩や版画といった表現技法も取り入れ「写真」の新たな解釈として提示。

増田洋美 [ガラス造形作家]

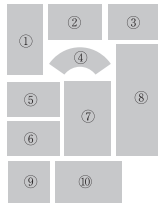
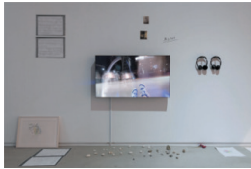
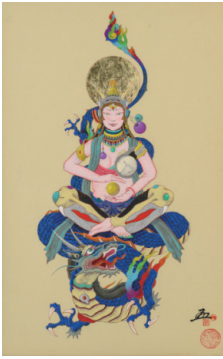
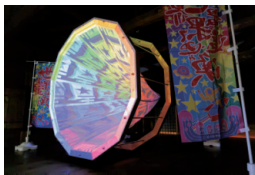
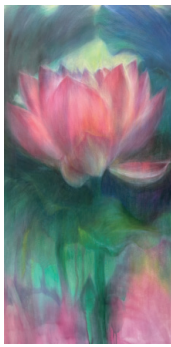
軽井沢を拠点に国内外で作品を発表。職人の作る「吹きガラス」を故意に潰し、「美しき異形」を生成。これらを空間に集積させインスタレーションとして展開する。

宮本忠長 [建築家] 佐倉弘祐 [信州大学助教] 「都市空間デザイン学」学生 [信州大学理工学研究科]

宮本（1927—2016）のアンビルト都市計画〈善光寺表参道 セントラルパーク構想〉および〈善光寺周辺街並み環境整備構想〉と、佐倉の「都市空間デザイン学」履修生が作る複層的な長野市街マップとを併置展示予定。

もんぜんまち劇場

2004年から続く、小さな舞台表現を集めた演劇祭。門前エリアに点在するカフェや寺院などを含めた「まち全体」を劇場とみため、演劇や落語、朗読劇等を上演。



- ① 小山利枝子《lotus-birth》2024
- ② 郡司ペギオ幸夫《三人称を迎える眷属の出現:どの一人称でもあり、どの一人称でもない》2024
- ③ 光明制作所《世界最果て追い込み漁》2024
- ④ 田嶋健《柏手図》2024
- ⑤ 増田洋美《PLAY THE GLASS con tenerezza》2003
- ⑥ 大木裕之《抽象トク化》インスタレーション風景 2024 photo:田村冬実 ©ANOMALY
- ⑦ ナカムラジン《龍頭観音》2024
- ⑧ 中村恭子《風景の肉体—湿地の王》2023
- ⑨ 高木こずえ《mizuumi02》2011 ©Cozue Takagi Courtesy of TARO NASU
- ⑩ 宮本忠長《善光寺周辺環境整備計画》(部分) 1997

【もんぜん千年祭2025 プレイベント】
大倉源次郎 特別講演
「能から紐解く〈善光寺〉」+小鼓演奏

2025年1月15日[水]
会場:善光寺 大勸進 紫雲閣
[定員70名]
クラウドファンディング返礼品にて、ご予約受付中



[READYFOR]
もんぜん千年祭!
長野善光寺門前で、
時空を超えアートで
線をつなぐ。

会場等、最新の情報は
HPをご覧ください



開催エリア：長野県長野市善光寺周辺および門前
電車でお越しの場合

東京方面から
JR東京駅(北陸新幹線で約1時間30分) → JR長野駅

名古屋・大阪方面から
JR新大阪駅(東海道新幹線で約1時間強)
→ JR名古屋駅(中央線特急「しなの」で約3時間弱)
→ JR長野駅

新潟・北陸方面から
JR金沢駅(北陸新幹線で約1時間) → JR長野駅
JR長野駅から善光寺までは、善光寺口バスロータリー「1番のりば(善光寺方面行き)」発の路線バスをご利用ください。(長野駅→善光寺大門、所要時間約15分、運賃190円) 善光寺大門のバス停から善光寺本堂までは、徒歩5分程度です。

主催：もんぜん千年祭実行委員会

事務局：ISHIKAWA地域文化企画室 380-0845 長野市西後町610-12 R-DEPOT2F-I
TEL. 026-217-0608 e-mail. bunkanet@avis.ne.jp
グラフィックデザイン：相澤徳行

特別協力:信州善光寺・善光寺大勸進・善光寺大本願 後援:長野県・長野市・信濃毎日新聞社・NHK長野放送局・SBC信越放送・abn長野朝日放送・TSBテレビ信州・NBS長野放送 協力:長野灯明まつり実行委員会・信州大学工学部建築学科・長野県立大学・清泉女学院大学文化学科・長野美術専門学校・宮本忠長建築設計事務所・西之門よしのや・R-DEPOT・ANOMALY・TARO NASU・ミルク倉庫+ココナッツ 支援:信州アーツカウンシル(一般財団法人長野県文化振興事業団) 令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業・信毎文化事業財団